

科学の進歩に驚き、行く末は？

JJ1SXA 池

今年の物理学賞（ノーベル賞）は新しい光の研究に決まりました、対象となった「レーザーによる周波数の精密測定技術」は、時間を測る精度を今より桁違いに向上させるだろうと期待されているようです。

現在もっとも正確な時計は、原子時計ですが、これは、セシウム原子が放出、吸収する、周波数約9ギガヘルツのマイクロ波を振り子に使っているようで、誤差は数千年に1秒程度のようなようです。

時間の計測には、振り子の振動数（周波数）を計ることによって行われるという原則は崩れていないようですが、子供時代に田舎にあった、ぜんまい式で振り子が動くレトロな大きな柱時計に懐かしさを覚えながら、そんなものかと納得しています。

セシウム原子が放出、吸収する、マイクロ波の振り子から、今度の研究「レーザーによる周波数の精密測定技術」によって、次は光が振り子になることになりそうで、実現すれば、精度は今の原子時計の千倍に上がるようです、そうなると、数百万年に1秒の誤差、気が遠くなってしまいます、科学の進歩はすさまじいスピードです。

現代の花形、勝ち組の **IT** 企業とファンド、旧来の世間の常識を大幅に変えるべき動きが盛んです、株式の上場が本当に良いことか、悪いことか、インターネットと放送の融合とか、プロ野球界の再編とか、凡人には中々追いつけない世の動きです。

先の衆院総選挙では小泉自民党の大勝で終わり、改革の波は更に勢いづくことでしょう、それが本当に私達に良い事なのか、悪い事かは歴史の検証にまかせるが、後世になると、偉人と評される人達も、その殆どが、生前は変人・奇人と言われました、今の時代に、色々の分野で、常識破りとも言えることをやっている人達の全てが、後に良い評価を受けるとも思えませんが、全てが悪い評価を受ける事は無いでしょう。

またまた、240の話題です、規定のルールに沿うことも大事ながら、ただ乗っかっているだけでは、何時脱線、転覆が起きるかも知れません、現在を良く把握し、将来を見据えての布石も大事です、得てして、何事も平穩無事に過ぎている時は、平和ボケしてしまい、例えば大規模テロが起きても、大災害が発生しても、直接の被害が無いと、気の毒だなあ、自分の所に被害が無くて良かったなあ、それだけで済ませ、時間と共に記憶が薄れてしまいがちです。

240も、誰かがうまくやってくれるだろうと、大部分の人が思ってしまうと、そこには落とし穴が待ち構えます、楽しみの場を維持しようと思うなら、一人一人が勝手な行動には気をつけ、謙虚と寛容の気持ちを忘れず、協調しながら楽しむことが大事であり、建設的な意見は必要ですが、後世に評価されないような変人奇人はいません。

（今は、そんなに危機感を持つ程のことは無いでしょうが・・・何局がこれを読んでくれるか？）